

# 福島県 三春町

## 三春地区

- そ  
の  
他
- 防  
災  
・  
減  
災
- 子  
育  
て  
支  
援
- 健  
康  
・  
医  
療
- 経  
済  
活  
性  
化
- 交  
通  
利  
便  
性  
向  
上
- コ  
ン  
パ  
ク  
ト  
シ  
ティ
- 観  
光  
・  
交  
流

### ■ 基本情報

計画期間：平成 22 年度～平成 26 年度  
 面積：146ha  
 交付対象事業費：433 百万円  
 市町村人口：16,800 人

### ■ 地区概要

本地区は、三春町の中心部にあり都市機能及び商業の拠点となる地域であるが、中心市街地の空洞化で賑わいや活気が衰退しつつあり、賑わいと活力のある都市核形成が求められている。  
 また、地域資源の有効活用による三春らしさの創出が課題となっている。

### ■ 目標

大目標 豊かな自然の恵みや歴史と文化を守り伝える三春らしいまちづくりの推進  
 目標 1 魅力ある街中の再生の促進  
 目標 2 三春町の持つ歴史や街並みといった景観に配慮したまちづくり

### ■ 主な事業

基幹事業：【道 路】北町荒町線、御城山 1 号線（269.0 百万円）  
 【高質空間形成施設】散策路等修景整備、公衆トイレ設置（83.4 百万円）  
 【高次都市施設】観光交流センター整備（33.3 百万円）  
 提案事業：【地域創造支援事業】城山公園眺望整備・落石防護柵設置（8.3 百万円）



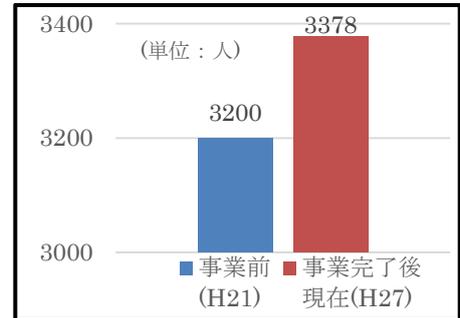
## ■まちづくりの実施効果

### 定量的な効果

#### ●桜川筋の散策者数の増加

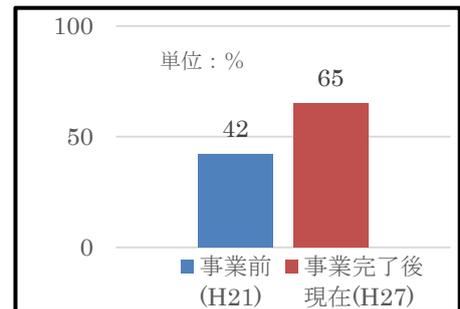
「城下町・三春」の雰囲気大切に景観に配慮した施設整備(町道石張り舗装、百杯宴広場)を実施するとともに、河川管理用道路を散策路として利用するための転落防護柵の設置をするなど歩行者ネットワークの整備を実施した。

また、公衆トイレや案内板の整備など散策者の利便性を高めたことにより、桜川筋の散策者数が増加した。



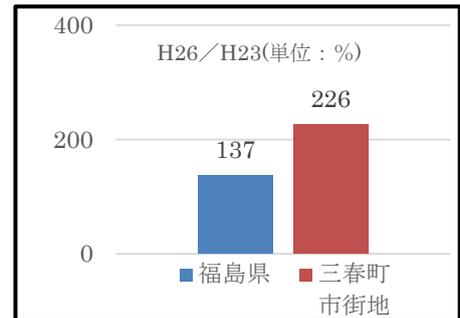
#### ●城山公園利用割合の増加

城山公園内道路の舗装や間伐を実施するなど、利便性の向上に努め、各地区まちづくり協会など町民協働による桜・花桃・もみじ・アジサイの植栽を進め、植栽後も草刈りなどの維持管理を町民協働で実施し城山公園の魅力アップに努めることで公園利用割合が増加した。



#### ●来町観光客数の震災後の回復

中心市街地の各種整備を進めるとともに、日本三大桜の「滝桜」をはじめ三春町が持つ観光資源のPRに努めたことにより、東日本大震災以降の観光客数の回復率が福島県平均を上回っている。



### 定性的な効果

- ・城山公園を会場とした「お城山まつり」が平成27年より実施され多くの方々が足を運んだほか、「舞鶴城」の復元を協議する委員会が発足するなど城山公園への関心が高まっている。
- ・桜川筋(裏通り)及び通称「おまつり道路」(表通り)と裏通りを結ぶ路地を整備したことで、表通りと裏通りを一体的に利用した「愛姫(めぐひめ)行列」や、「なかまち蔵」(観光拠点施設)を中心に「リアル宝探しゲーム・コードF6」や「数珠めぐり」など各種イベントが開催されている



愛姫行列の様子

#### ■効果を継続させるための今後の取組み等

- ・城山公園については城址であることから、史跡としての指定も含め今後関係機関と協議を進め、更なる整備・利活用について検討を行う。
- ・効果を継続させるためには、整備した施設の維持管理が必要不可欠であることから、各まちづくり協会等の協力を得ながら適正な維持管理に努めるほか、ソフト面充実のため三春まちづくり公社や三春町商工会等との連携を強化し協働のまちづくりを進める。

## ■地区 PR 欄

三春町では、平成元年の「市街地整備基本計画」作成から『2核(交流・情報核、商業核)1軸(商業軸)』を中心にした中心市街地活性化のため各種事業に取り組んできた。

今回の都市再生整備事業により、ほぼ全てのハード整備が完了し『点』から『線』へ、『線』から『面』へと大きな広がりを見せ、三春町の「まちづくり」が一つの形を成した。

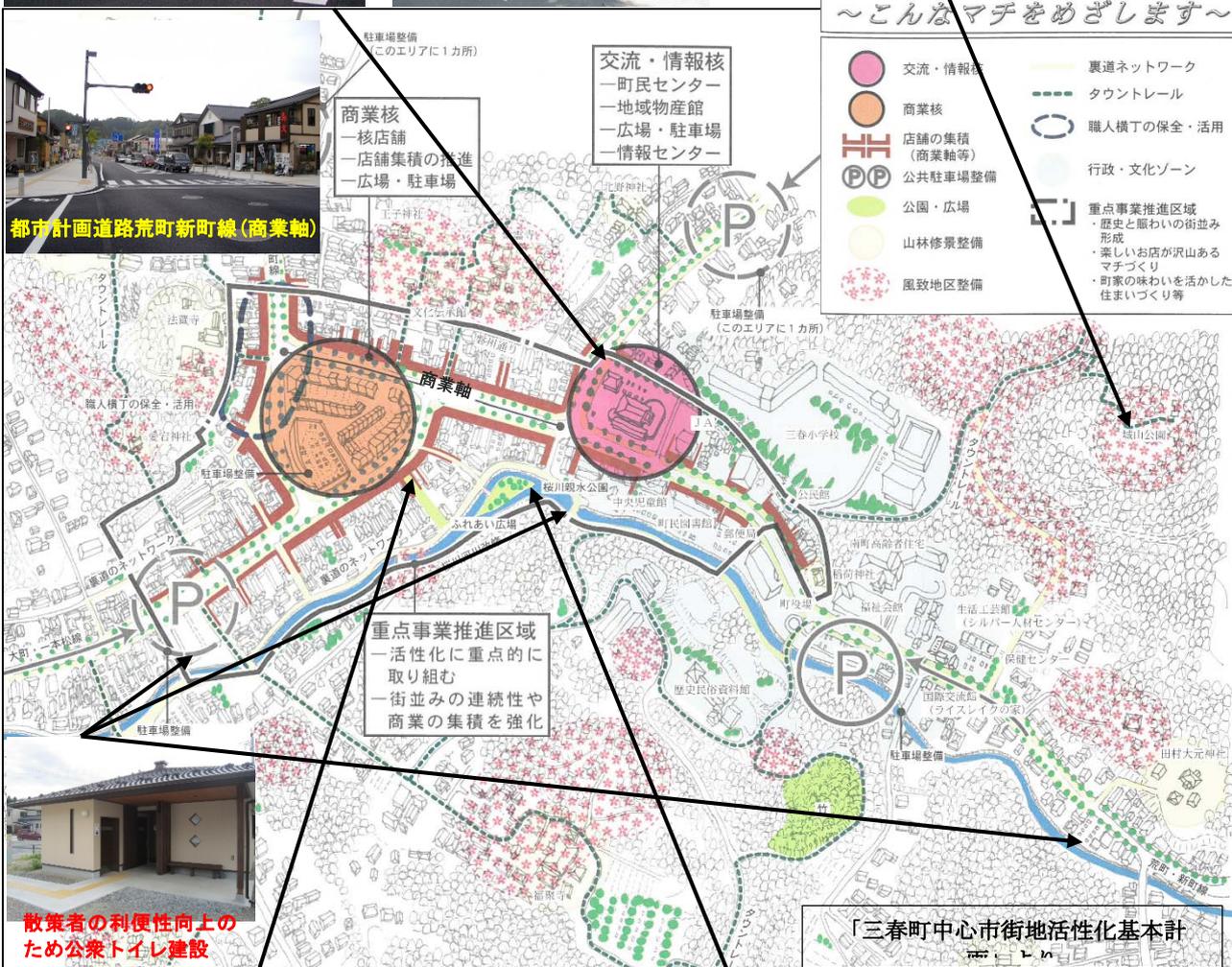


交流館まほら(交流・情報核)



H28.6 城山公園管理参加

「第2回お城山まつり」の様子



散策者の利便性向上のため公衆トイレ建設



なかまち蔵(観光交流センター)  
 まち中観光のほか、コードF6や数珠巡りなどのイベントの拠点施設



町道石張舗装と百杯宴広場